

令和4年度第10回理事会議事録

日 時	令和5年2月20日（月）午後7時00分より
場 所	麻生商店街事務所
出席理事	木村 弘 理事長 佐藤 典子 副理事長 生嶋 宏治 副理事長 劔物 忍 専務理事 柏崎 辰徳 理事 井上 尚謙 理事 中村 恵美 理事
欠席理事	内平 淳一 理事 加納 洋平 理事
事務局	奈良 正彦
会議次第	1、出席者数確認 2、前回理事会議事録確認 3、討 議
理事長挨拶	3月決算、50周年記念事業などがあるので、月1回の理事会では時間が厳しいので、皆さんの協力を願う。
議長の選任	定刻に至り、専務理事劔物忍氏開会を宣し、本日の理事会は定足数を満たしたので、有効に成立した旨を告げ、専務理事劔物忍氏が議長となり、議案の審議に入った。
議長	議案書に沿って審議を進めていく。 議案1の前回議事録の確認について、各自確認しておくこととする。 特になく、全会一致で承認された。
議長	議案2に入る。50周年企画進捗状況ということで、記念誌のほうはどうか。
中村氏	打ち合わせを2月1日金曜日に実施、前回から変わった点として印刷部数は、350部から200部にしてはどうか、不足分は追加とすることになった。印刷イメージだが、表紙について前回理事会で承認いただいた募集の件だが、五叉路に限らず「麻生」のイラストなり写真なりに変更することとしたい。募集に際しタイトルを決定したいが、案を出して次回理事会までに決めていただきたい。 組合店紹介ページについて、店舗のアピールなどを調査表に記入してもらい集めたいと考えている。
井上氏	URLなど、入れたいところはいれるということでもいいのではない

か。

中村氏 写真は、外観とか料理とか店に任せる。記載事項として、URLとかQRコードを載せるかどうかも店に任せる。次に「麻生ってどういう町？」というページを作りたいが、漫画で紹介したい。「麻生の歩み」の50年分を載せる。直近10年分を詳細に記述する。

議長 式典のほうの進捗状況はどうか。

生嶋氏 特にない。三役会でどういう規模で行うか決まってからのほうがいい。イメージとしては、サンプラザのホールを借りて北区商連他の方や、組合員には案内を出していくようなものを考えている。

議長 記念品のほうも具体的には決まっていない。

議長 議案3の審議にはいる。予定では2月中の今年度の事業について検討することになっていたので、概略で検討を行う。

議長 議案書に沿って、①駐車場事業についてどうか。

理事長 売り上げは芳しくない。

議長 ②の防犯カメラについてどうか。

事務局 去年は例年の8割ぐらいの照会であった。SDカードの点検などを補助事業で計画していたが、対象外とのことで実施していない。

議長 ③の五叉路について、佐藤氏より報告を求める。

佐藤氏 コロナ禍の中で、何とか商店街の活動を紹介できた。皆さんのアイデアを求める。

議長 基礎的なところで、何部ほど配布しているのか。

事務局 13000部ほどになる。費用は年間65万ほどである。

議長 ④について、ボウリング大会はどうか。

佐藤氏 最後のボウリング大会となった。

議長 ⑤ルンルンお買い物クーポン券事業について、運用の仕方とか改善点などがあったかと思うが、ほぼよかったということである。⑥の集団資源回収の件は、どうか。

事務局 回収率が悪い。

議長 回収期日の告知が周知されていないのではないか。

事務局 道新の折り込みのほか、町内会への配布もしている。

議長 ⑦のまちの灯りについて、検討する。設置は決めたが、撤収をしていなかった。

事務局 撤収については、あさぶ商事と事務局にて撤去終了した。

議長 ⑧のりあん事業について検討する。

井上氏 商店街の総会の報告で、りあんを取り上げるのか。

佐藤氏 商店街も運営に参画をしているから、商店街の報告事項とすべきだ。

理事長 商店街のイメージアップ、宣伝という意味で大きな意味があるということが必要であると考えている。

佐藤氏 りあんでのまちの教室などの事業は商店街事業として行っており、

委託料を負担する一方で収益は商店街に入るが、子ども食堂などの事業はりあん単独の事業であり、寄付やWAMからの助成を受けたりして実施している。

理事長 商店街とりあんとのかかわりはわかりやすく図式化するなどしたほうが良い。

議長 ⑨の女性部について、検討願いたい。

中村氏 防災マップとSNS講習会を追加してほしい。

議長 3月には議案第2号を決定する。

井上氏 議案2号を話してもらい3月理事会で決めるということでもいいのか。

佐藤氏 井上さんがやりたいこととかなないのか。

井上氏 私は賦課金が物価と連動して上がったりするものなのか、少し上げることができるのか、気になる点である。

事務局 議案の第2号については理事会のほうでやっていただきたいが、今は組合員同士のつながりとかが全然ない状態であり、商店街の一員としての意識がないのではないかと。ゆくゆくは商店街はなくなってしまわないかという危機意識を持たなければならないのではないかと。昔のようにイベントをやって人を集めてその流れでお店に行くというような時代ではなく、そうするとイベントというのはそれほど重要視する必要はないのではないかと。今はSNSとかで情報収集している時代であり、そっちのほうにシフトしていかなければならないのではないかと。事務局の更新なども課題となる。

議長 事務局の人員の更新について、新しい人を入れるのか、西本、佐藤でやっていくのか、人員を減らすのか、どういう風に考えていくのか。

理事長 その点も考えなければならない。

事務局 賦課金の話が出たが、賦課金だけでは人件費も賄えない。将来的に商店街を担っていける人材とかがその程度の報酬で見つかるのか危惧を持つ。収入の3本柱としては、賦課金と駐車場事業と補助事業であるが、補助事業というのはそれなりに難しい面があるので、早めに関後継を見つける必要があるのではないかと。

議長 街区で約400事業所があるが、組織率を高めなければならないのではないかと。

理事長 商店街も今の時代に合った、組合員の期待にこたえられるような仕組み作りをしたうえでやっていく必要がある。

議長 そのような点を反映させた次年度の事業方針を三役で作っていかなければならない。

生嶋氏 商店街加入のメリットがあるのであればいいが、ないという人がほとんどである。

議長 そういうことを含んだ事業計画を作っていくということにする。続いて報告事項を確認する。以下、議案書に沿って議論する。組合員状

況は1店加入、会議会合は議案書の通り。駐車場看板、商店街新規開店、防犯カメラについて確認。情報発信事業について、五叉路の来月号は商店街アピールについては柏崎氏担当とする。

議長 引き続き、確認する。
事務局 まちの灯りについて、あさぶ商事より設置、撤去費用として25000円の請求が来ているが、承認願いたい。
議長 議場に諮り特に異議なく承認とされた。次回理事会は3月27日月曜日とする。以上にて第10回理事会を終了する。

その他案件を確認し、すべての議案の審議を終え午後8時30分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作り、出席理事がこれに記名押印する。

令和5年2月20日

麻生商店街振興組合理事会

議 長 理 事

劔物 忍



木村 弘



佐藤 典子



生嶋 宏治(欠席)



柏崎 辰徳



井上 尚謙



中村 恵美



内平 淳一(欠席)

加納 洋平(欠席)